

公園内で見られる 植物

写真は6月18日(土)

自然観察会で見られた

植物です



クマノミズキ (ミズキ属)

花／6～7月。枝先に葉より高く散房花序を出し、小さな黄白色の花を密につける。
名前の由来／はじめて発見された三重県熊野にちなんだもの。



ネジキ (ネジキ属)

花／、前年枝の葉腋から長さ4～6釐の総状序をだし、白い花を下向きに多数つける。
名前の由来／幹がねじれることによる。花の形が飯粒に似ているので、飯粒の木と呼ぶ地方もある。



リョウブ (リョウブ属)

花／6～8月、枝先から長さ10～20cmの総状花序を数個だし、白い花を多数つける。
用途／新芽を山菜として利用、天ぷらやまぜご飯にする。



ノグルミ (ノグルミ属)

花／雌雄同株。6月、新枝の先に穂状花序を数個直立する。
用途／器具材。樹皮や葉を砕き、川に流して魚をとった。(魚毒)



クリ (クリ属)

花／雌雄同株。花期は6月。新枝の葉のわきから長さ10～15ㇼの尾状花序をやや上向きにだす。



ホタルブクロ (ホタルブクロ属)

山野や丘陵に生える高さ40～80ㇼの多年草。花期6～7月



ネズミモチ (イボタノキ属)

花／6月、新枝の先に長さ5～12㎝の円錐花序をだし、白色の小さな花を多数つける。
名前の由来／果実の色や形がネズミの糞のようで、葉がモチノキに似ていることによる。



ササユリ (ユリ属)

葉が笹の葉に似ていることによる。別名早百合。平地から丘陵、山地にかけての草原に生える。花期7～8月



オカトラノオ (オカトラノオ属)

花序を虎の尾に見立てたもの。丘陵の日当たりのよい草原などに生える高さ 0.6~1 程度の多年草。花期 6~7 月。



ウツボグサ (ウツボグサ属)

花穂を矢を入れるうつぼに見立てた。夏、花が枯れて黒っぽくなくても、そのまま立っているので夏枯草とも言う。花期 6~8 月